chrome enterprise

Chrome Enterprise でリモートワークを実現するための 10 のベストプラクティス

1

リモート アクセスを許可するようにネットワークを設定する

Wi-Fi、イーサネット、バーチャル プライベート ネットワーク（VPN）アクセスに関する適切なポリシーと、ネットワーク証明書をデバイスに設定し、従業員が必要なデータにアクセスできるようにします。

詳細情報

2

Google セーフ ブラウジングの設定を確認する

セーフ ブラウジング機能では、ユーザーが悪意のあるサイトを開く前に警告が表示されるため、不用意なアクセスを防ぐことができます。この設定は、IT 管理者が Google 管理コンソールで行います。

詳細情報

3

必要に応じてデバイスをリモートで無効にする

企業のデバイスを紛失したときや盗難に遭ったときのリスクを低減できます。Google 管理コンソールから Chrome デバイスを直接無効にしたり、デバイスを見つけた人に返却先を知らせるメッセージを画面に表示したりできます。

詳細情報

4

Chrome リモート デスクトップで技術的な問題を解決する

Chromebook は使いやすいうえ、馴染みのある Chromeブラウザがインストールされていますが、ユーザーが問題を抱えている場合は、IT 管理者が Chrome リモート デスクトップを使用してリモートでサポートを提供できます。

詳細情報

© 2021 Google LLC 1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043.

chrome enterprise

5

自動再登録を確認する

デバイスを管理対象として維持し、適切な設定を確実に適用するために、自動再登録を有効にすることができます。

詳細情報

6

リモート ワーカーが必要なアプリにアクセスできるようにする

Google 管理コンソールを使用して、アプリまたは拡張機能をインストールします。管理者はユーザーのタスクバーにアプリを固定したり、アプリのインストールをブロックしたりできます。従業員は必要に応じて、VDI ソリューションを使用してアプリにアクセスすることも可能です。

詳細情報

7

画面ロックとアイドル時の設定を確認する

アイドル状態が一定時間続いたら画面をロックするように設定することで、従業員が離席しているときにデバイスが不正使用されるリスクを減らします。

詳細情報

8

最適な更新方法を決定する

自動更新を有効にしてリモートワーカーに常に最新のビルドを適用するか、まずは管理者が新しい更新をテストします。どちらの方法でも、従業員のデバイスに自動的に更新をダウンロードしてインストールすることができます。この処理はバックグラウンドでシームレスに実行されます。

詳細情報

9

管理対象のブックマークの設定を使用する

リモート ワーカー用にブックマークのリストを作成して、社内のイントラネット ページや人事などのリソースに簡単にアクセスできるようにします。管理コンソールを使用してブックマークのリストを送信し、ユーザーの利便性を高めることができます。

詳細情報

10

複数のプラットフォームで動作する Chrome ブラウザを管理する

管理者は Google 管理コンソールを使用して、Windows、Mac、iOS、Android で動作する Chrome ブラウザを管理できます。Chrome には組織を保護する機能が組み込まれています。

詳細情報

© 2021 Google LLC 1600 Amphitheatre Parkway, Mountain View, CA 94043.